

秋田駒ヶ岳

概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・地震活動（図2）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・熱活動（図3～6、表1）

9月4～5日、25日に行った現地観測の結果、
女岳山頂部周辺の噴気地熱地帯の状況に変化は
なく静穏な状態でした。

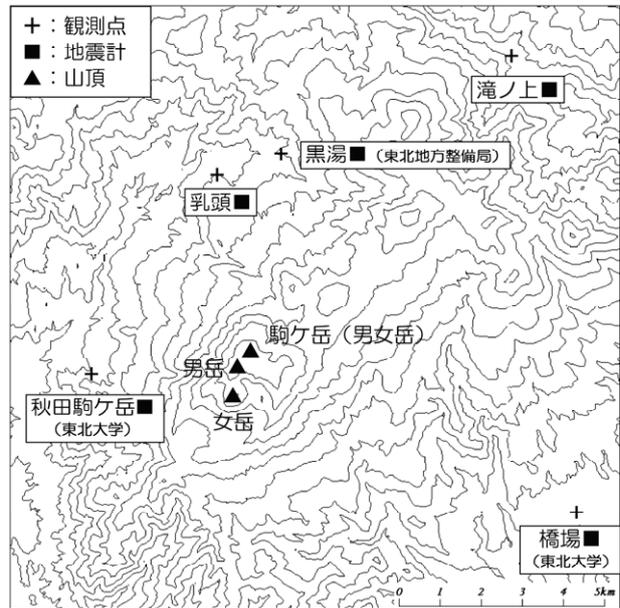


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

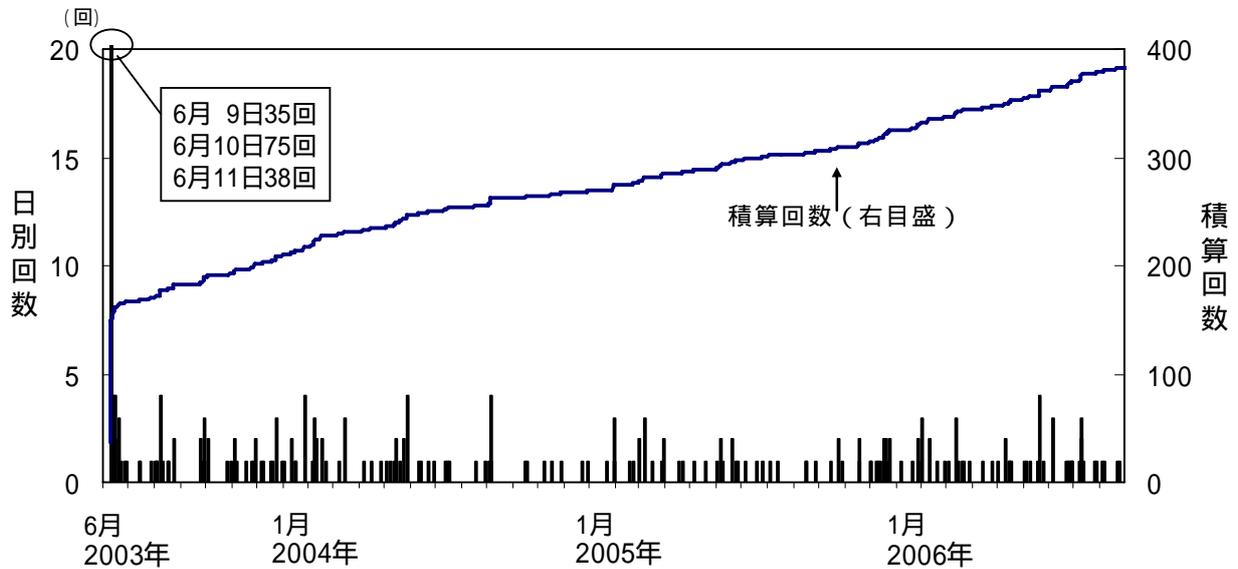


図2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月9日～2006年9月）

2003年6月9日～7月31日、2004年5月1日～5月31日、8月11日以降は、秋田駒ヶ岳(東北大)の地震計による
2003年8月1日～2004年4月30日、2004年6月1日～8月11日の期間は水沢の地震計（気象庁:2004年9月観測終了）による

資料は気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号 平17総使、第503号）

秋田駒ヶ岳火山現地観測結果（9月4～5日、9月25日実施）

9月4～5日及び25日に女岳山頂部を中心に現地観測を実施しました。赤外熱線映像装置¹⁾による地表面温度分布、及びサーミスタ温度計²⁾による噴気温度、地中温度の観測結果では、前回(2005年7月)と比べ大きな変化はなく、また、目視による女岳山頂周辺の観測でも、植生の枯れなど異常は確認されず、静穏な状態でした。

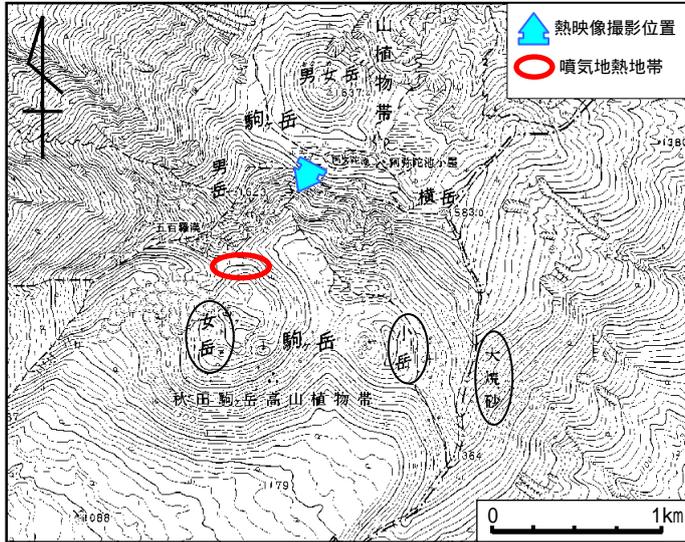
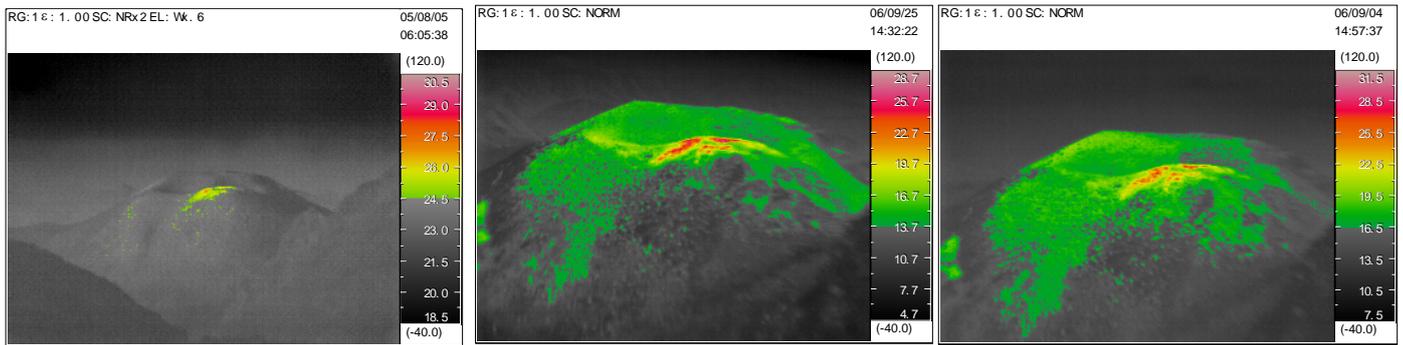


図3 秋田駒ヶ岳の地形図と熱映像撮影ポイント



図4 女岳山頂北部噴気地熱地帯の可視画像（2006.9.25撮影）



2005.8.5撮影(広角)

2006.9.5撮影(標準)

2006.9.25撮影(標準)

図5 女岳山頂北部噴気地熱地帯の熱赤外画像

表1 女岳山頂北部の噴気・地中温度

女岳山頂北部の噴気・地熱地帯温度観測結果(深さ10～30cm)					
	H15・6	H16・9	H17・7	H18・9・5	H18・9・25
天気・気温	晴・18	曇・13	雨・15	曇・13	晴・13
噴気・地中温度	86	72	85	67	
〃		70	76	70	80
〃		84	81	79	84
〃		83	93	93	94

注) 番号は、女岳山頂北部の噴気地熱地帯（東西40m、南北20m）を4つの領域に分けて観測し、西側から、 、 、 とした



図6 女岳山頂北部の噴気地熱地帯（2006.9.25撮影）

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。